

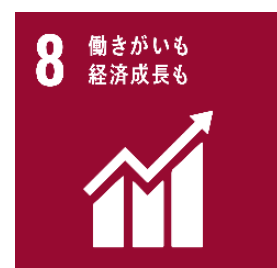


令和 8 年度 学校説明会

SHIMOSAKUNOBE PRIDE

の発展にむけて

川崎市立下作延小学校



第3次川崎市教育振興基本計画

かわさき教育プラン **が策定されました！**

めざすもの

「一人ひとりが輝き、共に未来をつくる」

みんなと共有したい価値観

「一歩、踏み出す 自分の幸せ みんなの豊かさ 多様性を可能性へ」

KeyProject

- Project1** 社会参画に向けた資質・能力を育成する探究的な学び
- Project2** 組織等の枠を越えた連携による切れ目のない支援
- Project3** 教職員が働きやすい環境づくり
- Project4** 生涯を通じた「学び」と「学び合い」社会の実現

かわさき探究2.0

に取り組みます。

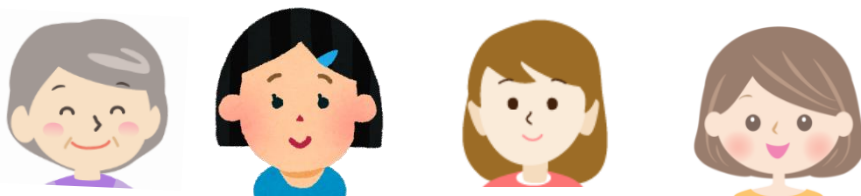
下作延小

SHIMOSAKUNOBE PRIDE とは？

令和 8 年度も



自分を大切に思い、他者を認め、
学校・地域・川崎を大切に思う
子どもの育成



に取り組みます。

今年度の取組

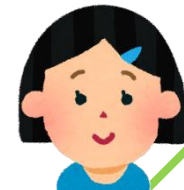
SHIMOSAKUNOBE PRIDE

の発展にむけて

「**自己調整学習**」の考え方に基づく教科指導

「**心理的安全性**」に基づく学級経営

この2つによる教育活動の推進



今年度の取組

SHIMOSAKUNOBE PRIDE

の発展にむけて

コミュニティ・スクールの理念を基盤とした

保護者・教職員・地域が
一体となった学校の創出



ボランティアさんを
募集します

今年度の取組

SHIMOSAKUNOBE PRIDE



みんな ワクワク
保護者・地域と一体となった学校へ



学習

地域資源開発（外部講師など）
企業・行政の活用
学習ボランティア（水泳学習ボラン
ティアなど）募集

防災・防犯・交通安全

町会の見守り活動
避難所開設運営委員
見守り活動ボランティア

環境

栽培ボランティア(花壇管理)
清掃ボランティア(体育館・校庭側溝)
修繕ボランティア（ペンキ塗り）

情報

学校行事の撮影・動画配信・動
画作成ボランティア
イラスト作成ボランティア
来場者管理



「地域学校協働活動」の充実へ

下作延小

今年度の取組

教科担任制（交換授業）・高学年専科教員による指導

【教科担任制（交換授業）の実施】

- ◇担任が学年内の教科を担当しあい、学年児童の理解、学習状況の把握を通してすべての教科指導に生かします。

【高学年専科教員による指導の実施】

- ◇社会（4～6学年） 外国語（3～6学年） 音楽（3～6学年）
- ◇専門的な指導による学習内容の充実を図ります。

今年度も実施します！

今年度の取組

環境教育の充実

みどりで、つながる。
みんなが、つながる。
みどりとゆめが、つづくまち。
みんなが、最幸 下作延。

環境教育の
充実をめざします。

- ◇地域の環境保全・緑化活動に積極的に取り組みながら、自分を大切に思い、他者を認め、学校・地域・川崎を大切に思う気持ち（SHIMOSAKUNOBE PRIDE）を育みます。
- ◇子ども達に、花やみどりの楽しさ・大切さを知り、植物を慈しみ命を大切にする気持ちを育てます。
- ◇子ども達が育てた花などが、地域の方のためになることに喜びがもてるよう取り組みを進めます。

学校評価にかかわる12の項目

- 学習・教科指導等に関するもの（6項目）
- 保護者・地域との連携に関するもの（1項目）
- 児童支援に関するもの（3項目）
- 安全・安心な環境に関するもの（1項目）
- 保護者・地域との連携に関するもの（1項目）



今年度も 以下の

**12項目を下作延小学校の重点課題とし、
教育活動や学校運営に取り組みます。**

学習指導・教育課程

①基礎・基本の確実な習得と活用する力・互いに高めあう子どもの育成

- ◇全ての教科を通して学びの意欲を高め、「わかる」「できる」「楽しい」を実感じ、共に学び合う児童を育てます。
- ◇既習経験を生かし、意欲をもって学べるよう授業を工夫します。また、互いの考えや思いを交流することを大切にし、友だちのさまざまな考えを知り、そのよさや違いのわけを考えることで、よりよい学び合いが生まれ、成長しあえることをめざします
- ◇朝の短時間学習等を通して、基礎・基本的な問題に繰り返し取り組んだり、60分授業に取り組んだりすることで、知識・理解のさらなる定着につなげます。

- ◇自己調整学習の考え方を大切にし、『何を学ぶか』『どのように学ぶか』を意識した授業改善を行い、**能動的・協同的・相互交流がある授業**を行います。
- ◇川崎市学習状況調査の結果をもとに、子ども達に身に付けさせたい力を明らかにして指導にあたります。
- ◇国語科の研究を進め、子ども達の表現力・思考力を高める指導を行います。
- ◆**学びの意欲を高め、「わかる」「できる」「楽しい」授業をめざします。**

4 質の高い教育を
みんなに



下作延小



具体的な取組

- 子どもたちの学習意欲を高め、「かかわり」を大切にした国語科の授業づくりに取り組みます。
- 基礎・基本を定着させるための「反復学習」を行い、「できるようになった」→「やってみたい」という意欲と自信をもつ子どもを育てます。
- 「なぜ？」「どうして？」という問いを大切にした「問題解決的な学び」に取り組み、「思考力・表現力」の向上に努めます。
- 国語の学習では、対話を活発にさせ、「考えがさらに広がる・深まる」授業に向けて、より効果的な指導の手立てを追究していきます。

学習指導・教育課程

②個に合わせた支援の充実

◇少人数指導（全学年35人以下学級編成）、学校サポーターによる支援や学習センターを活用した指導や支援等を行います。

◇教科担任制による指導内容の充実を図ります。

（3年生以上では、授業交換をして指導力の向上を図ります。）

◇少人数指導のよさを生かし、より計画的に子ども達が「わかる」「できる」と実感できる学習指導、学習支援を充実させていきます。

◇児童の思いに合わせた学び方、日常的につまづくことが少なくなるような指導を進め、児童の学習進度や個性に合わせ学びが深まるような指導を行います。

◇学びの個性化・個別化を意識した学習活動を進めます。

◆学習に「不安」を感じる子ども達が、
少しでも「安心」なものと感じることができるよう指導・支援を行います。

4 質の高い教育を
みんなに





具体的な取組

- 「選択」と「振り返り」を大切にした自分の学びを自分でつくる学習方法を行いながら、学習への支援を適切に行えるように努めます。
- 「習熟度学習」を実践し、児童の学習状況に応じたきめ細やかな指導を行います。
- 安心できる雰囲気の中で、児童一人ひとりの特性に合わせた指導を丁寧に行うことで、児童の学びへの意欲を高めていきます。
- 「教科担任制・専科指導」の取組を進める中で、チームとして児童の学習を支える環境構築を行います。
- 児童の学びとは何かを常に考え、児童の学びを支える学習環境づくりに引き続き取り組んでいきます。

学習指導・教育課程

③防災・防犯教育の充実

- ◇避難訓練・防犯訓練の想定ややり方を工夫し、自分の身を守るための指導を行います。
- ◇保護者と共に学び、地域とつながる防災教育を工夫し実践します。
- ◇有事の際を想定し、西高津中学校と連携した訓練を実施します。

- ◇地震・火災の他、洪水や台風等の避難も視野に、朝会の活用やカリキュラムを検討し、より充実した防災・防犯教育に取り組んでいきます。
- ◇防災教育を通して、備える大切さを保護者とともに考え、地域に発信し、発災時の児童の安全確保はもとより、避難所となる学校施設を有効に活用できるよう、地域住民の避難所利用の理解を進めます。
- ◇保護者・地域・西高津中学校等と合同した、より実践的訓練をさまざま実施し、災害への意識を高めていきます。
- ◇風水害を含めた発災時の避難や下校の仕方について検討し、整えていきます。

◆子ども達の災害に対する意識を
高めていく指導を行います。



具体的な取組



- カリキュラムに防犯教育・防災教育を適切に位置づけ、防犯、防災の意識を子ども達に高めていきます。
- 避難所開設訓練に、積極的に参加し、地域住民に防災の大切さについて発信しながら、防災の意識をさらに高めていきます。
- 避難訓練については、より実際的な状況を想定した訓練を行い、「自分の命は自分で守る」を合言葉に、より自主的な避難行動ができるように取り組みます。
- 発災時や不審者侵入など、実践的な訓練の質をさらに高め、継続して訓練を行います。

学習指導・教育課程

④情報教育の充実

- ◇一人ひとりが一台のGIGA端末を利用しながら、機器の操作方法を系統的に指導し、学習において適切に活用できる力と態度を育成します。
 - ◇発達の段階に合わせて系統的に情報モラル教育を進め「適切なコミュニケーション」の力を育てます。
 - ◇教職員がGIGA端末を学習において適切に活用できるよう、研修を行い、児童にとって学習中GIGA端末を適切に授業に生かし、活用できる力と態度を育成するようにします。
 - ◇情報モラル教育を全学年において行い、外部講師などを招いての指導を行うとともに家庭と連携をしていく。また、配信システムなどを活用することを通して、情報モラルの向上に向けての資料・情報を保護者向けに配信していきます。
 - ◇児童の情報モラルを高めるために、引き続き情報モラル教育について、保護者と共に学ぶ機会・時間を増やしていきます。
- ◆発達段階に応じた正しい情報リテラシー・情報モラルを身につけることができるようにします。





具体的な取組

- GIGAの正しい使い方や操作方法を低学年のうちから学べるよう工夫をし、情報教育の充実に向けた適切なGIGA端末の活用を指導していきます。
- SNSの危険性について指導するとともに、LINEやメールなどのコミュニケーションツールを正しく使わなければ、トラブルになる可能性があることや相手を傷つけてしまうことを指導していきます。
- 家庭での情報モラル教育の実施について、引き続き保護者の理解や協力を得ながら実施していきます。

学習指導・教育課程

⑤健康教育・運動する子ども

◇日々の体育授業や養護教諭・学校栄養士による健康に関する授業や日常的な衛生管理への意識を高めるなど、健康や体力に関心をもつ児童を育てます。

◇年間を通して特別活動におけるカリキュラムを健康教育に関する視点から見直し、**衛生指導、歯磨き指導・食育・保健・給食などの教育活動を引き続き充実**させていきます。

◇**運動の楽しさを体験することによって、体力や運動への関心をより高める**ようにします。
(木曜日の朝に行われるキラキラタイム・キラキラチャレンジの充実)

◇**拡大学校保健委員会**などの開催を通して、保護者ととも
に児童自身が自分の健康について意識し考える機会を設けます。

◆**児童が自分の身体を意識し、健康や体力に関心をもつことができるように指導**します。

3 すべての人に
健康と福祉を



下作延小



具体的な取組

- 「拡大学校保健委員会」「キラキラタイム」などの教育活動、日々の体育授業や養護教諭・学校栄養士による健康に関する授業を通して、日常的な衛生管理への意識を高め、健康や体力に関心をもつ児童の育成に努めます。
- 朝の時間を活用したキラキラタイムにおいて、誰でも簡単に繰り返し行える運動を行い、体力の向上を図る取組を進めます。
- 今年度も、健康教育の取組の継続・充実を図り、各家庭と連携・協働した健康教育の充実を図る取組を進めていきます。

学習指導・教育課程

⑥地域に愛着をもてるような教育活動

- ◇学校教育目標に即し、目的をもって地域に出かけ、地域のよさを実感できる教育活動を取り入れ、指導を行います。
 - ◇積極的に地域の教育資源を開発し、地域の人材・地元企業と連携した教材開発・授業開発を進めます。
 - ◇生活科・総合的な学習の時間・社会科の学習、学校行事等で地域の「人・もの・こと」との出会いやふれあいを通して地域を愛する気持ち、感謝の気持ちを育てます。
 - ◇日頃から「SHIMOSAKUNOBE PRIDE」「かわさきPRIDE」を意識した学習活動に取り組んでいきます。
 - ◇これまでの成果を生かし、低・中・高学年ごとや学校全体での地域のかかわりを計画していけるカリキュラムを作成し、実践していきます。
 - ◇コミュニティ・スクールのサポート部門の協力を得ながら、地域・保護者の方のさらなる学校サポート体制の充実をめざします。
- ◆**地域の一員としての自覚がもてるような学びを積極的に行っていきます。**

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



14 海の豊かさを
守ろう



具体的な取組



■生活科や総合的な学習の時間を活用し、1年生では昔遊び、2年生では町探検、3年生では夢パーク、4年生では防災に関する学習、5年生では環境に関する学習、6年生では郷土愛を深める学習に取り組みます。

■今年度も「SHIMOSAKUNOBE PRIDE」を意識し、目的をもって地域に出かけ、地域のよさを実感できる教育活動を取り入れながら、積極的に地域の教育資源の開発、地域人材・地元企業と連携した教材開発・授業開発を進めます。

■すべての教育活動において「かがやき交流DAY」で地域から「受信」した刺激を、「かがやき発表DAY」における「発信」へとつなげる学習に取り組みます。

特別活動

⑦主体的に取り組む気持ち、自己有用感の育成

- ◇委員会活動・クラブ活動、係活動その他の活動において、児童の発想や意欲を生かした活動に取り組み、児童自身が「楽しい学校」を創造できるよう指導します。
- ◇運動会やかがやき交流DAYなどを含めて、全ての学校行事において、児童の発想を大切に活動が進められるようにします。
- ◇さまざまな学校行事を通して協働することの大切さ、連帯感・自己有用感・自己達成感を高めていける指導を行います。
- ◇SDG s にかかわる学習活動に意識を向けさせた指導を行っていきます。
- ◇児童の創造性を大切に、児童の発想を生かし意欲を高めることができるような指導を丁寧に時間をかけて行いながら、学校行事の内容を精査し、児童の自己有用感を高める効果的な実施時期を検討しながら指導を行っていきます。
- ◇学校内における学習活動について、SDG s の何にかかわっているのか児童が意識できる指導を継続していきます。
- ◆よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる学習指導を行います。
- ◆子ども達ひとり一人が自己肯定感・自己有用感を高め、自信をもって行動できるようにします。





具体的な取組

- 児童の何事にも主体的に取り組む気持ちや自己有用感を高める取組は、下作延小学校の教育活動の中でも特に大切にしているものです。委員会活動やクラブ活動、係活動を通して、子供たちの発想や意欲を大切にした取組を進めます。
- 自分の発想を生かし、自分の役割に責任をもち、**友達と協力しながら何事にも取り組めるように**、自分たちで考え、形にしていく経験を通して、**目的をもって意欲的に活動する子ども達に育てます。**
- 子ども達の自己肯定感・自己有用感をさらに高めるために、学校運営組織に特別活動部会を設置し、**「チーム下小」として児童の主体性を育む特別活動に組織的に取り組んでいきます。**

児童支援

⑧一人ひとりが命の重さや価値を実感し、他者を思いやる気持ちをもつ

◇年間の教育活動。(人権週間の場や、子どもの権利学習、SOSの出し方・受け止め方教育の実施、学校行事における教育活動)を通して、児童自身が自分も相手も大切にできるように努めていきます。

◇美しいもの、素晴らしいものにであったり、感動したり、生き生きと生活する大人に触れたりして、心が豊かになる時間を過ごすことができる機会を計画的につくります。

◇人にやさしくしたり、役に立ったりした時に自分の心も豊かになることを実感できる教育活動の充実を図ります。

◆思いやりをもって自他ともに命を大切にする子どもに育てます。



具体的な取組



■ 子ども達一人ひとりが、自分にも友達にも、それぞれがもつよさがあることに気付いていけるような活動を積み重ねることで、自分のことも、まわりの人のことも大切にすることを心から実感する教育活動、自他ともに大切にすることへの喜びを感じていける教育活動を行います。

■ **人権週間**や、**子どもの権利学習**、**SOSの出し方・受け止め方教育**、などの時はもちろんのこと、学校における様々な教育活動などを通して、一人ひとりの子ども達に命の大切さや他者を思いやる気持ちをもてるよう指導を継続していきます。

児童支援

⑨ 共生・共育の実施、コミュニケーション力の育成、いじめを許さない学校風土

- ◇各学年 6 時間の「共生 * 共育プログラム」を行い、社会性のスキルの習得に努めます。
- ◇「学校生活アンケート」を実施し、一人ひとりの思いをくみとることで、いじめの防止に努めます。
- ◇教職員はいじめ防止委員会を計画的に開催し、教職員で課題を共有しながら、いじめ防止・問題解決に努めます。
- ◇支援教育コーディネーターを中心に、児童の心に寄り添ったチーム支援を行います。
- ◇学級における心理的安全性の考え方にもとづき、児童自身がよりよい学級や学年、学校を創ろうという意欲を持続できるようにしていく。
- ◇教職員も継続して取り組み、子どもとともに居心地のよい学校、学年づくりを推進していきます。
- ◇いじめ防止について、研修や会議等で教職員で共通の認識をもつ機会を設け、児童の情報を共有することを継続していきます。
- ◇支援教育コーディネーターを中心に、学校巡回カウンセラーをはじめ広い視野での連携を図り、保護者の不安にも寄り添えるようにします。

◆子ども達の内いじめに対する意識を高めるとともに

コミュニケーション力を育成します。

10

人や国の不平等をなくそう



16

平和と公正をすべての人に



具体的な取組



- 教職員がいじめについての共通認識をもつとともに、いじめ防止基本方針に基づき、いじめについて組織的に対応していきます。
- 「学校生活アンケート」「共生＊共育プログラム」などの取組を引き続き続けていきます。
- 多くの子ども達が「いじめをしてはいけない」と思っています。わかっても起きてしまう・起こしてしまうトラブルを未然に防ぎ、いじめの早期発見・早期対応していくために、日々、指導を重ねていきます。
- 保護者の方の安心につながるように、ホームページなどを用いて、積極的に学校の様子について発信していきます。

児童支援

⑩ 皆が気持ちよく過ごせるための規範意識の育成

- ◇ 掲示物や全校ミーティングなどで、児童自身が気持ちよく過ごすことができる学校生活のルール作りについて考える機会を設けます。
- ◇ クラスでの生活目標や個人での「生活ふり返しカード」を通して、規範意識の育成に努めます。
- ◇ 児童達自身が、互いに気持ちよく過ごすためのルール作りや意識づくりに引き続き参画できるようにします。
- ◇ 他者に対する感謝の気持ち、ルールを守って生活することの大切さを継続して指導していきます。
- ◇ **落ち着いて生活を送るために**、自分を制する気持ち、我慢をする経験等についてはさらなる成長が必要と感じているため、**社会生活で必要なスキルを育んでいく指導を進めます。**
- ◆ **自分の生活をふり返しながらか、よりよい行動ができるよう指導します。**



具体的な取組



- 年間を通して、2ヶ月ごとの生活目標を設定し、具体的な目標を掲げ、行動し、ふり返る活動を行います。
- 児童会が進める代表委員会で日々の学校での生活の現状について共有し、全校ミーティングや各委員会活動を通して、子ども達の発想を生かした、学校全体で規範意識を高めるイベントやキャンペーンを行い、自分たちの学校を自分たちの手でよりよくしていく取り組みを行います。
- 学校生活において「考えー行動しーふり返る」を繰り返す中で、規範意識をもった行動がとれるようになり、自分たちにとって心地よい学校をつくることにつながっていると感じられるように指導を積み重ねていきます。

安全・安心な環境

⑪危機管理・施設の整備

- ◇心肺蘇生法・AEDやアレルギー、熱中症防止等の研修、学校安全マニュアルを活用します。
- ◇地域の安全見守り、避難所運営会議、PTAと連携し児童の安全確保を図ります。
- ◇交通安全教育、薬物乱用防止教育等を実践し、安全に対する意識向上をめざします。
- ◇教育委員会、地域、保護者と協働し、学校施設設備環境の改善に努めます。

◇熱中症防止や学校安全マニュアル等の危機管理に係るマニュアルを見直し、整備を進めます。

◇子ども達の安全・安心に関する意識を高める指導を継続して行います。

◆日常的に身の回り危険に対応できるように指導を行っていきます。



具体的な取組

- 子ども達の安全を第一と考え、引き続き、心肺蘇生法やAEDの操作、食物アレルギー、熱中症防止対策などの子ども達の安全を確保するための教職員研修を実施していきます。
- 交通安全教育や薬物乱用防止教育等を実施し、子ども達一人ひとりが安全についての意識を高め、自分の身の回りの危険に対応できるよう指導をしていきます。
- 学校施設、設備などの環境の改善に引き続き努めていきます。



保護者・地域との連携

⑫ 学校評価を生かした教育の改善・情報発信

- ◇ 保護者の方へ連絡したり、児童の様子を保護者・地域の方々にお知らせしたりするために、学校のホームページ等をさらに活用していきます。
- ◇ 学校から発出する保護者向けの手紙、調査結果等については、紙文書削減のために、ミマモルメのメール機能を活用して、さらなるペーパーレス化を図ります。
- ◇ 学校行事ごとに保護者アンケートを実施し学校改善に役立てていきます。
- ◇ 児童の学習活動の様子や日々の学校での姿について、12項目の観点をふまえ、学校として、その教育活動にどんな思い願い、ねらいがあるのかを保護者に丁寧に伝えていくことをこれまで以上に進めていきます。
- ◇ 学校行事ごとに保護者アンケートを実施していきます。
- ◇ 学校評価では、中間報告を取り入れ、PDCAの4つのサイクルを通り、らせん状の評価を行い、改善すべき点は即時改善が図れるようにします。

◆ 学校の様子を保護者の皆様に丁寧に伝えます。

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



具体的な取組



- 今年度も、保護者・地域との連携し、児童の様子を保護者・地域の方々にお知らせしたりするために、学校のホームページ等をさらに活用しながら、学校の出来事や子ども達の様子を積極的に発信していきます。
- 本校教職員の働き方・仕事の進め方改革をさらに進め、さらなる学校におけるDX化を促進していきます。
- 今年度も、学校行事ごとにアンケートを実施するとともに、年度末には学校評価をアンケートを実施し、保護者の皆様のご意見やご要望を受け止め、学校運営に活かしていきます。



令和8年度 学校説明会

SHIMOSAKUNOBE PRIDE

の発展において

川崎市立下作延小学校

